

# 資源ごみの無断持ち去り業者 などに罰金を

渡辺 武男 議員

議員 発展著しい中国での古紙需要が高まり、高値で取引されている現状から、資源ごみを無断で持ち去る業者などが急増している。資源ごみは、各自治体からサイクルを推進するために回収しており、その回収益は貴重な財源である。また、その回収には各町会等にも協力をいただいている。資源ごみ持ち去り禁止条例は他の自治体でも制定されているが、それだけでは



▲ごみ集積所

甘過ぎる。資源ごみを無断で持ち去る業者などに罰金を科して、強制力のある条例を制定してはどうか。

市民生活部長 この問題の対策として、

①市内公道上の全ごみ集積所に「この資源物は、市の所有物となるため委託業者以外は持ち去らないでください」の看板を張って注意を促し、所有権が市にあることを明記して持ち去りを防ぐ。

②持ち去りする車両のナンバーや社名等を、市民から通報を受けたものを県の廃棄物担当に連絡して、県警本部を通じて持ち去り業者に注意を促す。

これまで、道路上にあるごみは無主物として、だれの所有物に当たるのか、また、持ち去りが窃盗に当たるとの点も不明確でしたが、一部自治体では、条例に罰則規定を折り込んでいます。

本市の対応としても、廃棄物の処理及び清掃に関する条例の中に「資源物は戸田市に所有権がある」旨を明記するとともに、無断での収集・運搬を禁ずることや、罰則規定も視野に入れた改正について検討いたします。

併せて、早期に回収することや、各地域の町会館等に収集箱などを設置し、拠点回収する方法なども検討いたします。

議員 戸田市は子どもが多く、高齢化率も低く、若い街とみられている。しかし、少子社会で日本の人口が4年後をピークに減り始め、今世紀末には6000万人を下回るといふ予測のある中で、戸田市は影響を受けずにいられるのかという疑問を抱いた。

第3次総合振興計画は、平成12年から10年で2万3000人増加すると予測している。これを3年の経過

# 人口構成の変化を 冷静に分析せよ

神谷 雄三 議員

で見ると、0〜14歳、15〜64歳は伸びが鈍く、65歳超が予測の倍の速度で伸びている。つまり戸田市といえども早いスピードで高齢者は増えている。これを若い街のイメージ先行で施策をしていては、心配される事態も起こる。冷静に、市の将来人口構造、都市像を見ていくことが必要ではないか。

総合政策部長 データを従来以上に注意深く解析し、変化に対応していきます。

安全確保に歩道拡幅を

議員 ①子どもの国、戸田第二小学校では、セツトバックにより歩道拡幅工事を行っている。公共施設、学校、公園をセツトバックして、歩道を拡幅してはどうか。

②下前TUTAYA入口、川岸パロットスポーツ北側の植栽をすらして、歩道との一体利用ができるよう、撤去を要請してはどうか。



▲川岸パロットスポーツ北側歩道

# 一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、15名の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



# そこが ききたい



▲後谷公園のかるがも達

訂正 9月定例会会号の10頁6段目教育長答弁の中で、「美女木小」は「美谷本小」の誤りでした。お詫びして訂正します。

# 乳幼児医療費の 窓口払い無料化に

中名生 隆 議員

実施につきましては、子育て支援や財政負担等総合的観点から、限られた財源を有効的に活用すべく、どのような実施方法がよいのかを含めて、調査検討していきたいと考えております。

議員 埼玉県内64市町村で、すでに入院費を6歳までの支給対象年齢で実施している。戸田市の児童福祉の遅れが目立っている。国の1割削減の財源を当てれば、事業の実施は可能である。子育て支援で一番要望の強い経済的支援として、通院対象年齢の見直しが必要ではないか。

福祉部長 支給対象年齢の見直しについては、財政負担等総合的観点から、限られた財源を有効的に活用すべく、調査検討させていただきます。

低年齢児保育事業の充実を

議員 公園遊具の設置状況では、低年齢児用の遊具が少な



▲寒くとも元気いっぱいの園児達

い。ブランコ等は重く固い素材等で、落ちたり、ケガをする危険がある。完全な遊具設置も必要ではないか。

都市整備部長 今後、公園の新設及び改修時には、地域の方や関係部署の意見を取り入れ、安全な遊具の設置を検討してまいります。

議員 保育事業の散歩や公園遊び等、高齢者交流ボランティアの起用の検討は。

福祉部長 戸田市児童育成計画の中にも、こうした視点に立って事業を積極的に進めていく考えであります。